

作り方のポイント!



●使用する土

使用する土自体に腐敗型の微生物が多く含まれていると、団子がうまく作れない原因となります。そのような時には、前もって使用する土にまんべんなくEM活性液をまいて数日間寝かせてください。また、大きな石などが入っていると形が崩れやすくなるので、ふるいで大きな塊や石は取り除いておきましょう。

●団子の大きさ

団子の中心まで完全熟成させるためには、大きさをテニスボールほどの大きさにとどめましょう。

理想的なEM団子とは?

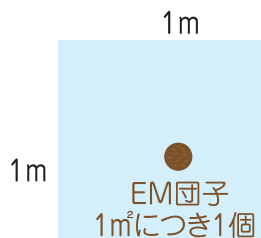
菌糸が中まで張りめぐらされて、硬くて重いEM団子は、水に沈み底にきちんと定着します。
*団子の表面に菌糸が張りめぐらされてなくても、しっかり固まっていれば、カビや酵母がきちんと働いているので問題はありません。

その2

だんご EM団子を投入しよう!!

ヘドロがたまった池、湖、川、海などに投入すると団子は底にとどまり、徐々に微生物がヘドロなどを分解! 小さな微生物から始まる、自然本来の豊かな生態系が出現し、水環境が蘇生します。

団子投入の目安



ヘドロが堆積している川や干潟等に、1㎡につき1個を目安に投入してください。



User's Voice (お客様のご利用例・体験)

EM団子を作ることで、地域の方々とお話をする機会が増えました。子ども、土遊びと同じ感覚でいるので、お友達と楽しんでやっています。親子で参加できる地域の環境活動って素敵ですね。団子が出来上がってみんなで川に投げるのもとても楽しいし、それで川がきれいになるなんて一石二鳥ですね。(愛知県 Oさん 27歳)

EM生活実践講座 VOL.2



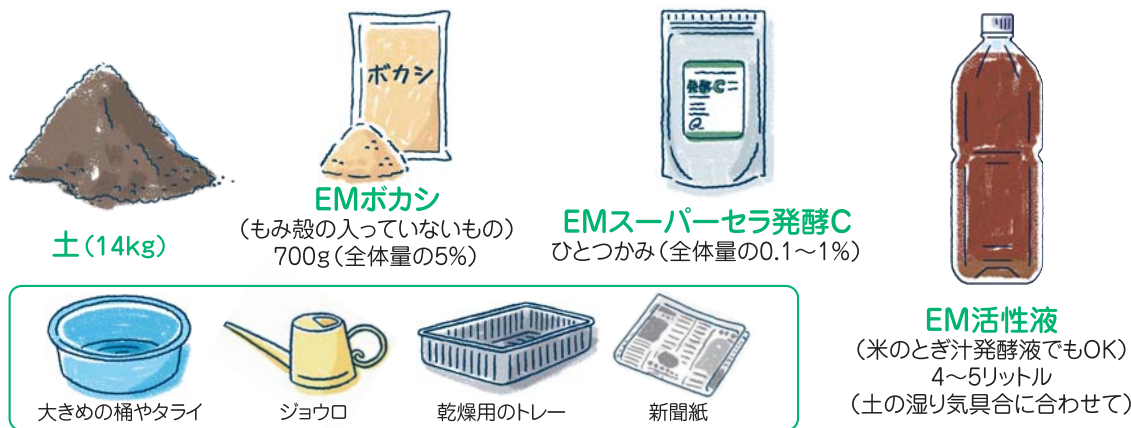
その1

だんご EM団子を作ろう!!

EM団子とは?

EMと土をわり混ぜ、菌糸を張りめぐらせたもの。団子の中は、繊維状の菌糸が縦横に張りめぐり、水分の蒸発と共に非常に強い結合状態になります。このため、水中に投入しても簡単に崩れず、安定して浄化作用を発揮します。

用意するもの(団子約100個分)



「EM団子の作り方」

1. 大きめの桶やタライに土、EMポカシ、EMスーパーセラ発酵Cを入れて混ぜる。
2. 使用する土のしめり具合に合わせて、EM活性液の量を調整しながら、少量ずつ加え、こねる。(団子の形が崩れないくらいに水分量を調整する。)
3. 泥状になったら、手のひらに適量を取り、テニスボール程度の大きさに丸める。
4. トレーに新聞紙を敷き、できた団子をトレーに並べる。
5. 風通しのよい場所で1週間ほど陰干しをし、EM団子の表面に菌糸が出てきたらさらに十分に乾燥(天日干しなど)させます。

【保存する場合】よく乾燥させてから保存すると品質を維持することができます。コンテナ等に入れておき、濡れない場所に保存してください。乾燥させずにいるとEM団子の質が悪くなる場合がありますのでご注意ください。

*団子の表面に菌糸が張りめぐらされてなくても、しっかり固まっていれば、カビや酵母がきちんと働いているので問題はありません。



その他EMの使い方はこちら!

EM生活のホームページにも掲載されています。TOPページ「EM生活実践講座」からダウンロードできます。
ホームページ <http://www.em-seikatsu.co.jp>